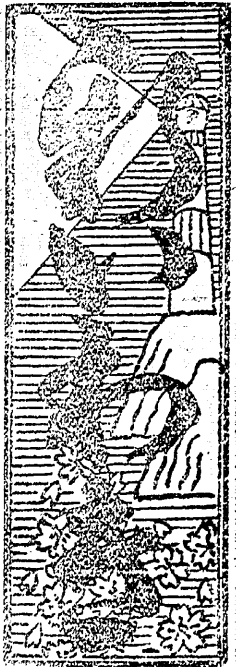


刊夕 日八月四



石城郡出身代議士星一氏の議
會報告演説會は来る十四日平
倉、内郷、十五日小名濱、
勿來、植田の六ヶ所に開催の
豫定で地元同志間に準備中
あるが星代議士は過ぐる議
にも豫算委員に擧げられ國家
多事の現下に處して常に抱
される正道の意見を披瀝せ
るものの中に皇紀二千六百年
記念して二億萬圓を置く發明

代議士星一氏の 議會報告演説會

十四日平市と四倉と内郷で
十五日は小名濱、勿來、植田

石城郡出身代議士星一氏の議
會報告演説會は来る十四日平
倉、内郷、十五日小名濱、
勿來、植田の六ヶ所に開催の
豫定で地元同志間に準備中
あるが星代議士は過ぐる議
にも豫算委員に擧げられ國家
多事の現下に處して常に抱
される正道の意見を披瀝せ
るものの中に皇紀二千六百年
記念して二億萬圓を置く發明

聖業完遂の大旗下に 郷軍聯合分會の總會

昨七日平商業學校々庭で

時銀克服聖業完遂の大旗のもとに商業學校々庭に於て大會
を催された昨七日の平市郷軍
聯合分會總會は出席約五百十
名の整列に午前九時藤井少尉
(副團長)開辭を述べ分會長藤
田中尉の勸諭、勸諭、詔書捧
讀、次へで顧問山崎少尉總裁
官殿下の命令捧讀、陸海軍大
臣の訓示(四家少佐代讀)藤田
分會長の訓示、聯合支部長の
決意訓讀(副長吉田少尉代讀)
終つて來賓青沼平市長の祝辭
ありたる後勇壯な閱兵分列式
を行ひ會歌の齊唱、吉田大佐
の發聲で萬歳三唱、吉田少尉
の閉會の辭で會を閉ぢ一同そ
のまゝ松ヶ岡公園忠魂碑前に

四ヶ市長會議

郡山市に於て
縣下の福島、若松、郡山、平
四ヶ市長會議は来る二十四日
二十五日の兩日郡山市役所に
開催、市政に關する内外につ
き協議をなす

第廿六回の 武道大會

来る十日の忠魂祭當日に於け
る石城郡下の武道大會は第二
十六回の催で當日は午前十時

平驛の三月貨物 一萬九百圓增收

石炭發送の著増から

平驛に於ける去る三月の貨物
取扱ひ高は
發送八〇四一噸(四〇三三)
到着一六四五噸(一六七
一四)收入二五九七五圓(一
五〇二六圓)括弧内は前
年同期
で到着は一般貨物は増加して
ゐるが昨年同期の俵米七三〇

拔擢された根本氏

石城郡泉村の産その略歴

縣下小學校教職員の異動で石
城郡大浦小學校長から縣視學
に拔擢、南會津支廳勤務とな
つた根本喜代氏は石城郡泉
村の産同郡夏井村の根本家へ
養子となつた當年四十五才の
働き盛り郷土からも其の榮進
を喜ばれてゐるが氏の略歴は
次の如くである
大正七年本縣師範卒直ちに
石城郡湯本尋常校の訓導とな
り後郡内赤井第一校の首
席及び内郷尋常校の首席を
經て鹿島校長に起用され大
浦校長に榮轉、縣下の模範
村と云はれる理想村建設に
努力、身心を教育報國に打
込んで校務を擧げたるは勿
論、社會教育、村民の指導

石城煙草耕作 組合總會

十七日公會堂で

石城郡煙草耕作組合に於ける
通常總會は来る十七日午前中
郡團體事務所で評議員會(耕
作區の町村長)午後から平市
公會堂に總會を開催する、同
會には町村農會長を地區理事
となすものゝほか耕作の世話
に當る總代人五十九名(その

多分故障がある云ふ
を大抵有毛病でターカ
イユマオピン、毎日
君は何時に起きますか
はメイテイエンニチ
ーテイエンチユンチ
ライ、定りがなければ没
準いでモチニール

聖城麻城を突破 一路漢口に南進

伊藤 貞衛

聖城、秋冷の候と相成り候
御一同様には益々御健勝の
事と遊樂申上候、小生その
後軍務多忙にまぎれ御無音
に打過ぎ甚だ恐縮に候へど
も何卒御海容下され度願上
げ候、小生永らく江南の地
に勤勞致し居り候へしが去
る八月下旬水降、南京、安
慶、廣州、六安、南城、光
洲、信陽等を経て第一線部
隊と行動を共にしながら漢
口攻略戦に參り同地飛行場
占領の命を受け十月二十七

興亞に向つて邁進

平市新川町出身 永島 俊春

肅皇、不肖在營中は一方向
らぬ御心配を添ふし謹みて
厚く御禮申上げます、此度
念よ第一線軍の一員として
勇躍去る二月〇日〇〇地
に到着致しました、今後は
大いに興亞建設に向つて邁
進いたし誓つて皆様の御期
待に添ふ覚悟であります、
先づは不取敢御知らせまで
末筆ながら御一同様による
しく御禮申下さし、敬具

平市參事會

今日午後一時から

平市では今日午後一時から
參事會を開き左記を附議決定
した
▲一時借入金(年度初めの
不足に對し)訴願の審明(中
野勇吉氏の)寄附採納(道
路敷地の寄附その他)不用
品拂下げ等の諸件
平市の愛婦分會總會は来る十

方法、補助獎勵金等の申請手
續きその他につき協議する
強盜傷人の賊
未だ捕はれず
負傷者經過良好
石城郡好間村の上好間無職齊
藤と(四)方へ押入りたる強
盜傷人事件の犯人は去る五日
未明の事件發生以來夜夜兼行
の平署の捜査にも未だ捕はれ
ず目下犯人の足と見るものを
追ふて躍起となつてゐるが一
方左頭部耳上に日本刀で斬つ
けられたとりのさんの負傷は醫
師の手當により經過良好で此
の分なれば生命に別條なしと
見られてゐる

隣村合併の 委員交渉開始

委員交渉開始

平市の隣村合併交渉委員會は
此の程打合せ會を開いた結果
今日から左記日割で交渉を
開始した
▲八日前九時赤井、午後
一時飯野、九日前九時神
谷、午後一時内郷、十一日
午後一時好間村(以上)

米増産の督勵委 員會

石城郡に於ける米増産督勵委
員會は来る十三日午前十時か
ら郡北方部を平市郡團體事務
所で十三日は郡南菊田方を
植田町役場に於て開催する

町村農會議員會

石城郡農會では来る十一日午
前十時から平市郡團體事務所
樓上に町村農會議員會を開き
三十二名の出席に對し事業の



事務用ソロバン
雲州産
播州産
優等印ソロバン
どらもち事務用ソロバ
ン中の一流品、材料の
精選、技術の優秀は申
すまでも御座いませ
ん向小學生用四玉ソロバ
ンも豊富入荷いたして
居ります
平市松尾小路
店代理 (文) 魁文堂
電話 313 番

農業

酸性土壌改良

焼土法の活性

(2) 眠る成分を醸す
肥料の製品回収
ところが此の肥料難時代である、何か良策はないかと探し廻つた挙句この二つが各方面で取りあげられ一躍肥料難時代の寵児と祭りあげられるに至つた、然し二つとも従来そのままでは大衆の實用に向かない欠点があるので各地で時局と結びつけて改良考案が加へられ完全なものを得ることが出来た、こゝに焼土法酸性土壌の改良が登場した意義を見出すのである、戦前は恐らく豫期されなかつた肥料の消極的施用である、窮すれば通ずるとは至言である、焼土法について埼玉縣立農谷養業試験場で研究したるもの、酸性土壌改良については酸度検出の簡易化から見て長野縣立長野養業試験場研究のものがよいとされてゐるので次にその方法を紹介することにする、

▲土壌活性法(順序と効果)
埼玉縣立農谷養業試験場荒瀬正平技師は肥料不足対策として土壌を焼燻して土壌中に睡眠状態で保蔵されてゐる莫大な肥料成分を覺醒させこれを水溶性のかたちで作物に吸収せしむる、いはゆる土壌活性法、を去る昭和九年以來研究中であつたが此の程完成、時局下にアツピルされることとなつた、荒瀬氏の考案になる土壌活性法は活性能を使用し、池溝の底にある泥土、または赤土、宅地附近の腐蝕土を出来るだけ乾燥させ活性能

にかけて平均攝氏一〇〇度ぐらゐで約三時間熱処理してから目的の畑菜園に一、二寸厚さに撒布する、

優良なる
金 鑛 區 を 買 入
優良なる
石炭鑛區を買ひ
(姓名在社)

命の御用は

三三三屋

牛も豚も優良品の自慢

大小の御宴會にホール
御家族の御同伴に御座敷
いつも材料を吟味して居ります

マルトモ食堂

平市四丁目(電話二二三番)

内科、小兒科
大森醫院
醫學士 大森 勇
平市南町 電二五八番

入院 應需

診療科目
一、齒科一般
保存科、補綴科、鑲嵌工科、
齒列矯正科、小兒科、齒槽膿漏科、
一、口腔外科
一、レントゲン科
平市田町(松月堂向)

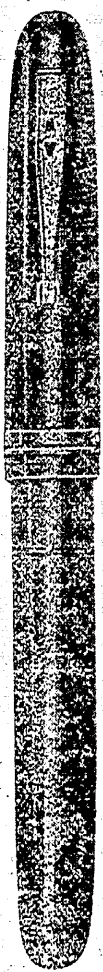
中野齒科醫院
電話五〇九番
院長 日本齒科醫學士 中野 慈次
日大醫學士 鹽谷 伍郎
主任 佐藤 重義

内科、小兒科
外科、花柳病科
耳鼻咽喉科
レントゲン科
平市田町 電話五一三番

高久病院
院長 醫學士 高久 忠

新學期

御入學、進級、卒業の御祝には是非必要な實用品を



贈呈用化
粧箱入
二回より
各種調製

◎萬年筆は信用ある専門店へ

岡萬年筆製作所

平市十五丁目(大町通り)

多田井質店

債券、公債
兩替、金融
平市大工町 電話五九一番

本 店 大 阪 高 津
支 店 平 市 南 町
支 店 平 市 東 町
支 店 平 市 西 町
支 店 平 市 北 町
支 店 平 市 南 町
支 店 平 市 東 町
支 店 平 市 西 町
支 店 平 市 北 町

良 品 廉 價 自 慢
高 久 病 院
高 津 高 津 藥 房

便利で
經濟な 日下家政婦會の
派出婦を御利用下さい

身元確かで品行方正ですから
何を任せしてもご安心です

日下家政婦會

會員同志の御加入(派出なき閑暇に裁縫や)
を御誘ひ致します(編物をお教授致します)

平田町(三丁目裏川岸通)
明雲堂眼科醫院
電話六六九番
入院應需(自炊の便あり)

断然評定あり
平南町 産婆看護婦學校へ
平 産 婆 學 校
看護婦 校長 清野キヨ

時局下
の女性
◎社會待望の高尚なる職業婦人
◎または御家庭の衛生學として
◎産婆看護婦をお奨め致します

第三十六回生徒募集

專 門 皮 膚 科
性 泌 尿 器 科
病 科 科
診 療 時 間 午 前 八 時 以 上
午 後 九 時 以 下
江 尻 伊 三 郎 醫 學 博 士
平 市 田 町 電 話 六 九 一 番
院 醫 尻 江